

安全データシート(SDS)

JIS Z 7253:2012
発行日:2017年6月6日

部品番号:K9020XB pH7 標準液調製用粉末

1. 製品及び会社情報

製品名: pH7標準液調製用粉末

提供者の情報

会社名: 横河電機株式会社
所在地: 〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32
担当部門: IAプロダクト&サービス事業本部 アナライザーセンター ビジネス推進部
電話番号: 0422-52-5845

推奨用途及び使用上の制限: pH 検出器の校正のための標準液の調製にのみご使用ください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 分類なし

健康に対する有害性 分類なし

環境に対する有害性 分類なし

GHS ラベル要素

絵表示 なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

注意書き[安全対策] なし

注意書き[応急措置] なし

注意書き[保管(貯蔵)] なし

注意書き[廃棄] なし

他の危険有害性 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

| 化学名 または一般名 | CAS 番号 | 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) | 含有率 (wt%) |
|-------------|-----------|-----------------------|-----------|
| りん酸二水素カリウム | 7778-77-0 | (1)-452 | 48～50% |
| りん酸水素二ナトリウム | 7558-79-4 | (1)-497 | 50～52% |

4. 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気の場所に写し、鼻をかませ、うがいをさせる。

皮膚に付着した場合

直ちに石鹼と水で十分に洗い流す。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。必要に応じて医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

直ちに口をすすぎ、水を飲ませる。意識のない人の口には何も与えないこと。必要に応じて医師の手当てを受ける。

予想される急性症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

この製品自体は不燃性であるため、現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

情報なし

火災時の特有危険有害性

情報なし

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、目や皮膚を保護する防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出物の処理を行う際には、適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉じんを吸入したりしないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|---------|--|
| 技術的対策 | 出来るだけ皮膚などに付けないようにすること。 必要に応じて局所排気装置を使用すること。 |
| 注意事項 | 取扱説明書にしたがって、適切に作業を行うこと。 |
| 安全取扱い事項 | 皮膚および眼との接触を避ける。必要に応じて、個人用保護具を着用すること。 |

保管

| | |
|---------|--|
| 安全な保管条件 | 直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管する。 潮解性があるので、密封して補完する。 |
| 容器包装材料 | ガラス、ポリプロピレン、ポリエチレンなど |
| 混触禁止物質 | 情報なし |

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度(ばく露限界値、生物学的指標)

設定されていない。

設備対策

粉じんが発生する場合は、局所排気設備を設置する。

保護具

| | |
|------------|-----------------------------|
| 手の保護具 | 必要に応じて保護手袋を着用する。 |
| 眼の保護具 | 眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 必要に応じて適切な保護衣や保護長靴を着用すること。 |

適切な衛生対策

使用時には飲食、喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観

| | |
|----|-----------|
| 性状 | 結晶又は結晶性粉末 |
| 色 | 白色 |

臭い

無臭

pH

6.86 (標準液調製時、25°C)

融点・凝固点

250-260°C

沸点, 初留点及び沸騰範囲

分解

引火点

データなし

| | |
|----------------|-----------------------|
| 蒸発速度 | データなし |
| 燃焼性(固体、ガス) | データなし |
| 燃焼又は爆発範囲 | |
| 上限: | データなし |
| 下限: | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度 | データなし |
| 比重・密度 | データなし |
| 溶解性 | 水に溶けやすい。 エタノールに不溶。 |
| n-オクタノール/水分配係数 | データなし |
| 自然発火温度 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| 粘度(粘性率) | データなし |
| 動粘度 | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|----------------------------|
| 化学的安定性 | 通常取り扱い条件下では安定である。 |
| 反応性 | 強酸・強塩基と接触すると反応する。 |
| 危険有害反応可能性 | 加熱して生じる分解生成物は有害なりん酸化合物である。 |
| 避けるべき条件 | 高温と直射日光と蒸気 |
| 混触危険物質 | 強酸、強塩基、強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | りん酸化合物 |

11. 有害性情報

製品の有害性情報

| | |
|-------------------|-------------------------------------|
| 急性毒性 | 経口LD50: 3146mg/kg(RAT) (計算方法は16項参照) |
| | 経皮LD50: 情報なし |
| | 吸入LC50: 情報なし |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 情報なし |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 情報なし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 情報なし |
| 生殖細胞変異原性 | 情報なし |
| 発がん性 | 情報なし |
| 生殖毒性 | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性, 単回ばく露 | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性, 反復ばく露 | 情報なし |
| 吸引力呼吸器有害性 | 情報なし |

成分の有害性情報 りん酸水素二ナトリウム

| | |
|-------------------|----------------------------|
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 500mg/24H 軽度 (ウサギ) (RTECS) |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 500mg/24H 軽度 (ウサギ) (RTECS) |

りん酸水素二ナトリウムの危険有害性情報は、16項の参考資料より取得。

りん酸二水素カリウム及びりん酸水素二ナトリウムは食品添加物としても使用されるものであり、有害性は特
にない。

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

| | |
|-----------|--|
| 生態毒性 | 情報なし |
| | (参考文献4) リン酸水素二ナトリウム LC50=1089mg/1/50H(大ミジンコ) |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生体蓄積性 | 情報なし |
| 土壤中の移動性 | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | 情報なし |

成分の環境情報 リン酸水素二ナトリウム

生態毒性 LC50=1089mg/1/50H (大ミジンコ)

その他環境情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

少量の場合は、多量の水に溶かし、下水に流す。
 都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者などに委託して処理する。
 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

容器は、水で洗浄し、通常のプラスチックゴミとして自治体の基準に従って処分する。

14. 輸送上の注意

| | |
|-------------|------------|
| ADR/RID(陸上) | 規制されていない。 |
| | 国連番号 - |
| | 品名 - |
| | 国連分類 - |
| | 副次危険性 - |
| | 容器等級 - |
| | ERGコード - |
| | 海洋汚染物質 非該当 |
| IMDG(海上) | 規制されていない。 |
| | 国連番号 - |
| | 品名 - |
| | 国連分類 - |
| | 副次危険性 - |
| | 容器等級 - |
| | EmS番号 - |
| | 海洋汚染物質 非該当 |
| IATA(航空) | 規制されていない。 |
| | 国連番号 - |
| | 品名 - |
| | 国連分類 - |
| | 副次危険性 - |

| | |
|--------|-----|
| 容器等級 | - |
| 環境有害物質 | 非該当 |

15. 適用法令

国際インベントリー

| | |
|---------------|----|
| EINECS/ELINCS | 収載 |
| TSCA | 収載 |

国内法令

| | |
|---------------|-----|
| 消防法 | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| 労働安全衛生法 | 非該当 |
| 危険物船舶運送及び貯蔵規則 | 非該当 |
| 航空法 | 非該当 |
| 海洋汚染防止法 | 非該当 |
| PRTR法 | 非該当 |
| 水質汚濁法 | 非該当 |
| 輸出貿易管理令 | 非該当 |
| 土壌汚染対策法 | 非該当 |

16. その他の情報

参考文献

- 参考資料 1 小宗化学薬品株式会社 化学物質等安全データシート りん酸二水素カリウム No.13060-6
- 参考資料 2 小宗化学薬品株式会社 化学物質等安全データシート りん酸水素二ナトリウム No.11752-6
- 参考資料 3 関東化学株式会社 SDS りん酸二水素カリウム No.32379
- 参考資料 4 関東化学株式会社 SDS りん酸水素二ナトリウム No.37243

急性毒性(経口)の計算方法

混合物の急性毒性(経口)は、JIS7252:2014のB.1.3.6の加算式に沿って以下のように計算した。

$$ATE_{mix}(oral) = \frac{100}{\sum_n \frac{C_i}{ATE_i}} = \frac{100}{\frac{49}{1700} + \frac{51}{17000}} = 3143 \text{mg/kg (RAT)}$$

- [使用データ] りん酸二水素カリウム=49%
 りん酸水素二ナトリウム=51%
 りん酸二水素カリウム 経口 DL50=1700mg/kg(RAT) (参考文献3)
 りん酸水素二ナトリウム 経口 DL50=17g/kg(RAT) (参考文献2)

免責事項

本 SDS は JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成しております。すべての情報を網羅しているものではありませんので、新たな情報を入手した場合には追加または訂正されることがあります。

SDS は、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので、物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なり、いかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取扱いには十分ご注意ください。

注意事項等は、pH 検出器の校正のための標準液の調製用としての使用用途のみを対象とした内容になります。

以上